


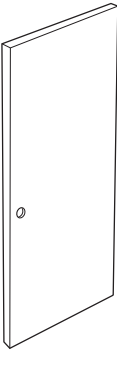
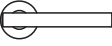
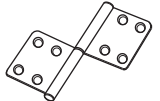
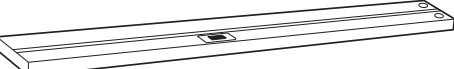



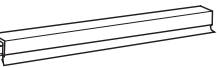
# ベターリビング 内装ドアユニット 片開ドア・トイレドア

このたびは、ABE KOGYO製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。

## ⚠ 施工にあたってのご注意

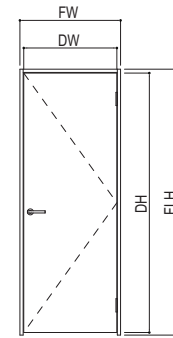
- この施工説明書をよくお読みになり、正しく取り付けてください。
- 当社の定める施工要領を逸脱しない加工および取り付けに瑕疵が生じ、施工者が無償修理や損害賠償を行った場合、BLマークの証紙の貼付(又は刻印等)がされている部品については、一般財団法人ベターリビングのBL保険制度により、保険金が支給されます。
- BL保険制度については、一般財団法人ベターリビングのホームページ(<https://www.cbl.or.jp/>)をご覧ください。
- 商品に破損や異常がないか、付属品の不足はないかをご確認ください。  
万一商品に破損や異常があった場合、また付属品の不備があった場合は、販売店または阿部興業株式会社までご連絡ください。
- 照明灯などの熱により、表面化粧が冒される場合があるので、熱源は1m以上離して作業してください。

## 部品構成

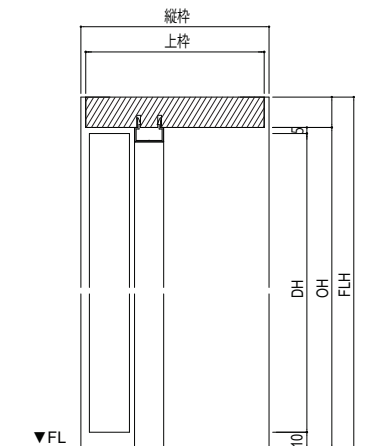
| 扉 梱包  |   |   | 別 梱包                 |   |
|---|---|---|----------------------|---|
| 扉本体   | レバーハンドル (1)   | 丁番 (上・下) (2)  | 上枠 (1)               |                       |
|  | <br>トイレ表示錠 | <br>レバーハンドルの箱に同梱 | 縦枠 (1)               |                       |
|   |   |   | 縦枠 (1)               |                       |
| 枠組立ビス (4)   | 躯体取付ビス (8)  | シルバー (3.4×60mm)<br>※推奨ビス(ビスは同梱されていません)  | 縦用戸当り (丁番側) (1)      | <br>・縦用戸当り (丁番側)      |
|   |   |   | 縦用戸当り (レバーハンドル側) (1) | <br>・縦用戸当り (レバーハンドル側) |
|   |   |   | 上戸当り (1)             |                       |

## 納まり図

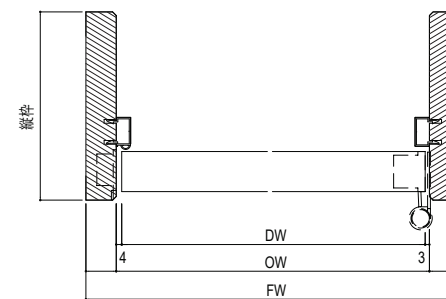
姿図



縦断面図(固定枠)



横断面図(固定枠)



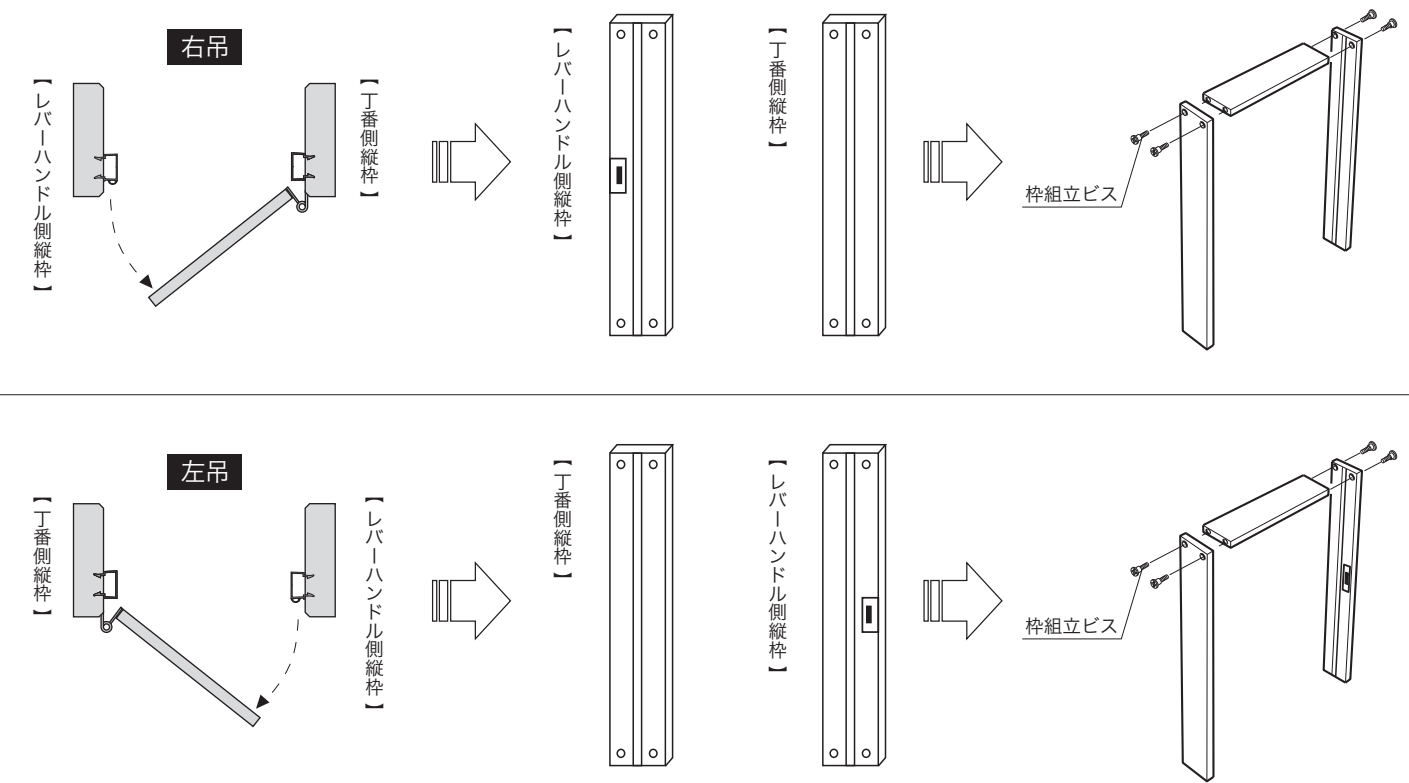
## 取付け順

### 1. 枠の組立て

①下の図を参考に、ご希望の開き方を選択して下さい。

②枠の向きを確認してください。

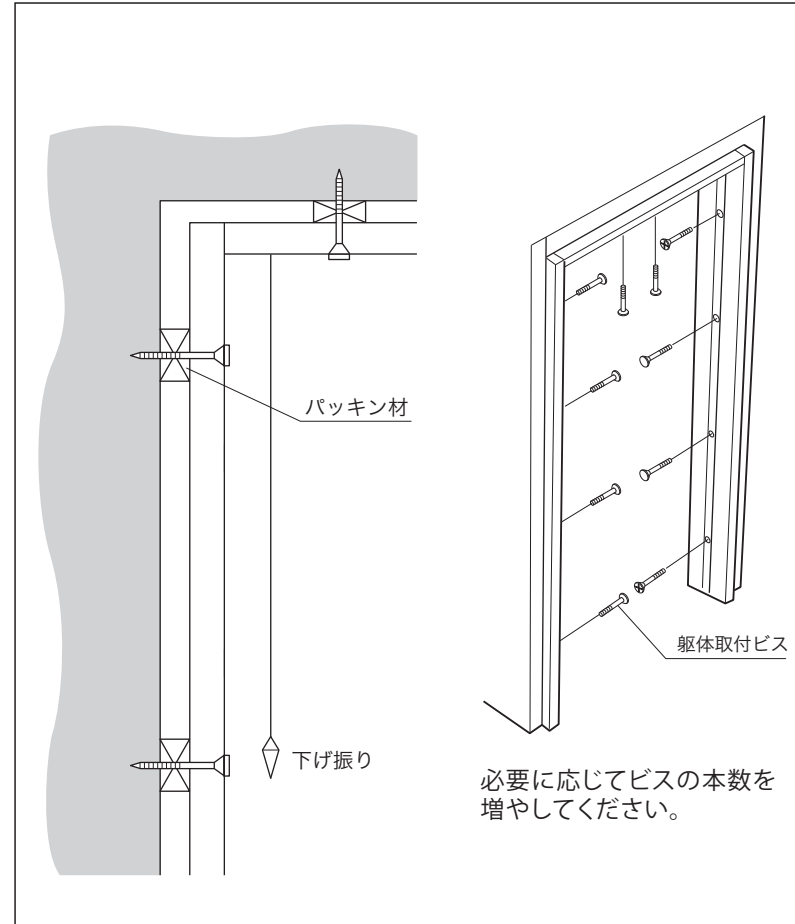
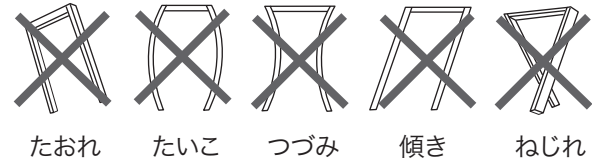
③枠組立ビスで上枠と縦枠を固定して下さい。



## 2. 枠の取付け

- ①開口部の水平・垂直を確認してください。
- ②枠を開口部に挿入し、下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。
- ③上枠・縦枠を躯体取付ビスで開口部に固定してください。  
必要に応じてパッキン材を併用してください。
- ④内法を確認し、建付け調整をしてから本固定してください。

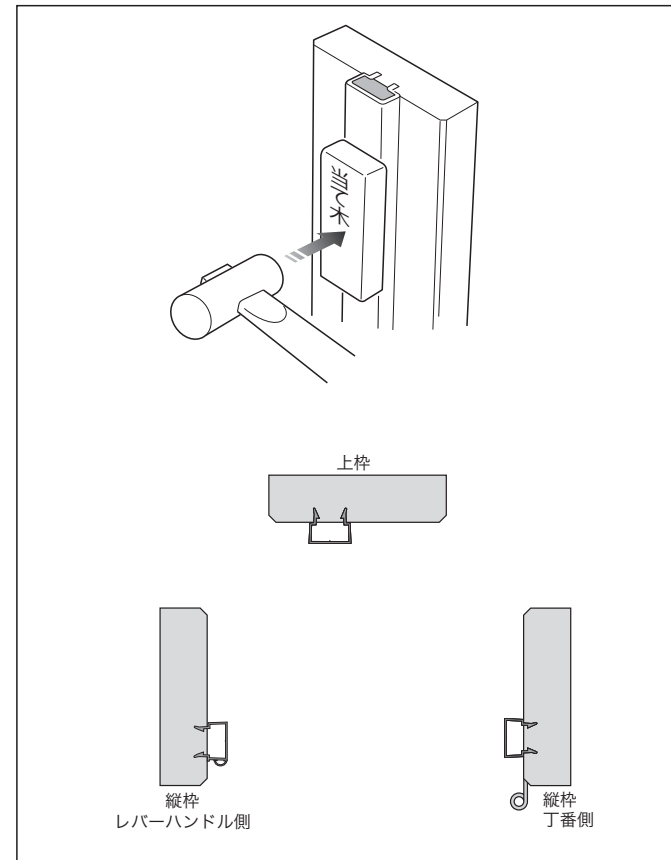
※施工後の枠が下図にならないように水平・垂直および開口寸法の確認をしてください。



## 3. 戸当りの取付け

●戸当りの納め方は横勝式です。

- ①枠の2本の溝に接着剤(現場手配)を入れ、当て木などを添えて打ち込みます。
- ②初めに、上用戸当りを取り付けてください。
- ③縦用の長さは、現場合せのうえカットしたのち、取り付けてください。
- ④縦用は、図のように丁番側とレバーハンドル側で形が違いますので注意してください。



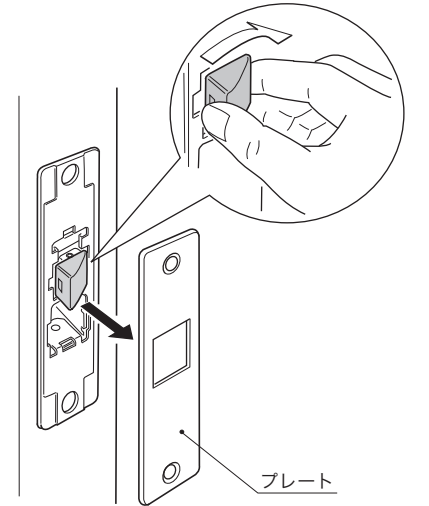
## 4. 扉の吊込み

- 枠に扉を吊り込み、扉がスムーズに開閉できるかを確認してください。
- レバーハンドルの取付けは、レバーハンドルの部品箱の付属の説明書をご覧ください。

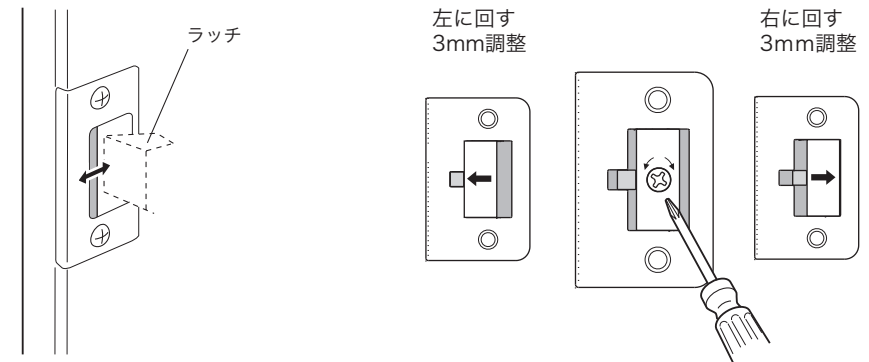
**注意** 扉の保護のため、扉を一度取りはずし建築工事完了後に再度吊り込むことをお勧めします。

## 5. 建付け調整

- ラッチの向き 左吊の場合にはプレートははずして、ラッチの向きを反対にしてください。(標準は右吊用になっています。)



- ストライク ラッチがストライクの中でガタついたり、ストライクにかからないときは、ストライクの調整を行ってください。



## 施工終了後の確認

施工が完了しましたら、下記の点について確認してください。

- ◆全ての部品が取り付けられているか、また間違った取付けがされていないか確認してください。
- ◆取付ネジが所定の位置に取り付けられているか確認してください。
- ◆ネジのゆるみや枠のガタつきがないか確認してください。
- ◆扉の開閉がスムーズに行えるか、施工上の不具合がないか再度確認してください。

<お手入れ方法>

- お手入れは、柔らかい布を、水でうすめた中性洗剤に浸し、よく絞ってから汚れを落とし、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
- シンナーなどの溶剤や強い洗剤を使用しないでください。
- ペンキ・グリース・油・パテなどが付着した場合は、速やかに拭き取ってください。

<使用上のご注意>

- 扉の近くでストーブなどのご使用はお避けください。(扉が反ったり、表面がゆがんだりする原因になります。)
- 扉や枠の清掃には、シンナーなどの薬品を使わないでください。